

MPE720 Ver.7.62 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.62 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.60→ Ver.7.62 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	YRM-X に対応しました。	新規
2	Σ -X に対応しました。	新規
3	263IF-01 Ver1.06 に対応しました。	新規
4	ログイン機能を改善しました。	改善
5	検索機能を改善しました。	改善
6	SVF-01 のリトライ回数を改善しました。	改善
7	ユーザメモリ異常時の起動不良を改善しました。	改善
8	ラダーコンパイラを改善しました。	改善
9	モーションコンパイラを改善しました。	改善
10	モーションプログラム実行中にフラッシュ保存できるようにしました。	改善
11	印刷マネージャが起動しない現象を改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ -V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

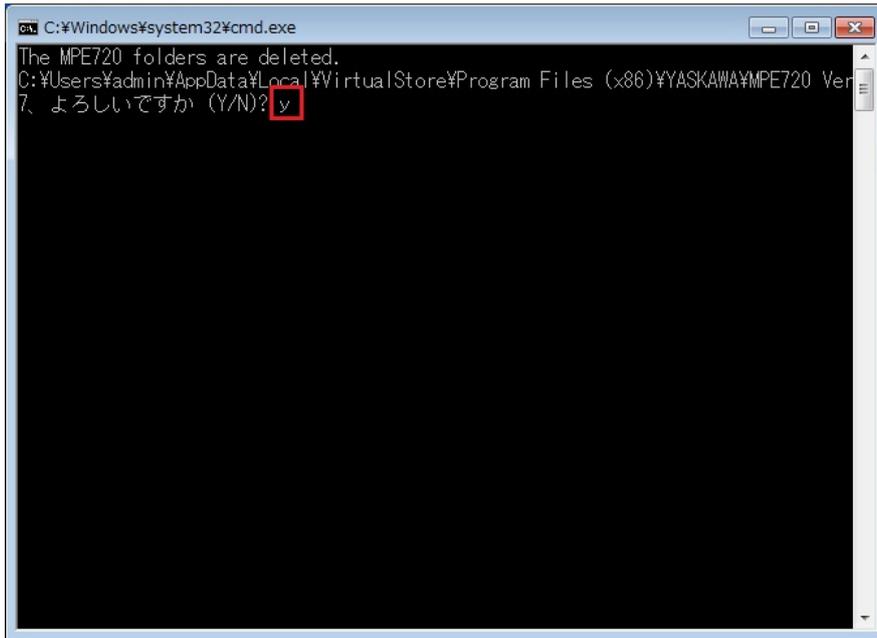
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

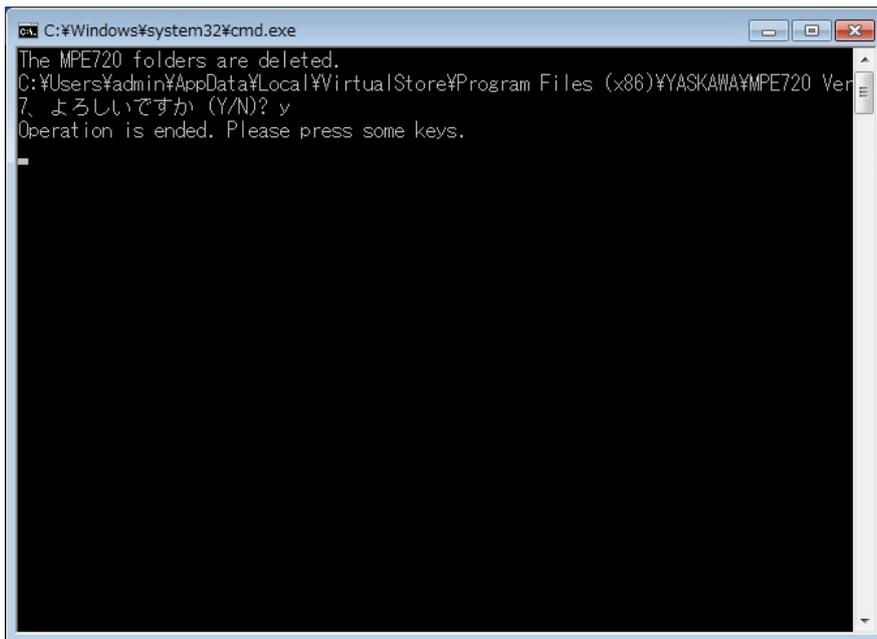


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7. よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7. よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users\ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

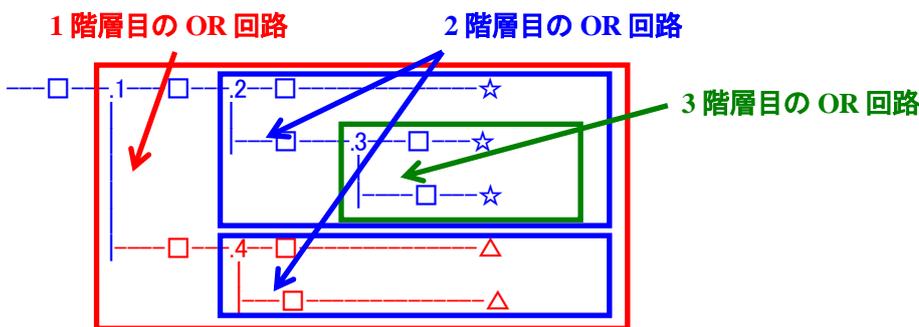
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!=、>、<) 命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

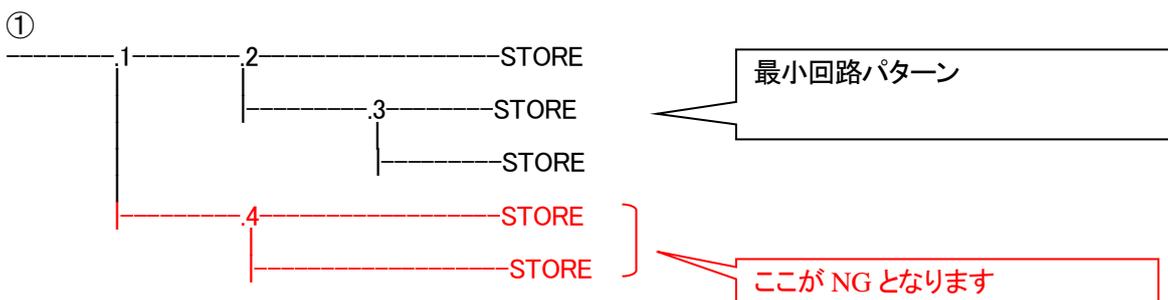
※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

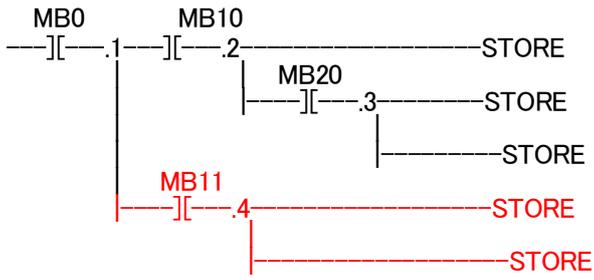
【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

【NGパターン】



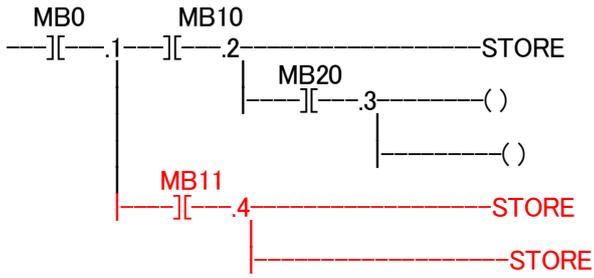
②



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があってもNG

ここがNGとなります

③

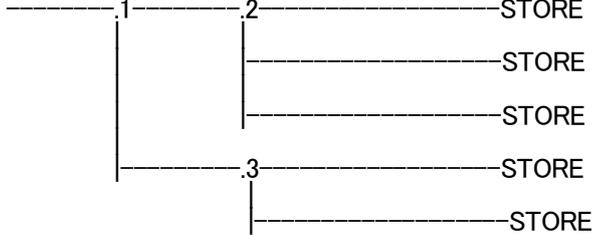


ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があるとNG

ここがNGとなります

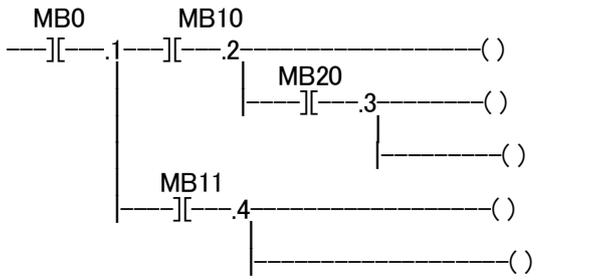
【OKパターン】

①



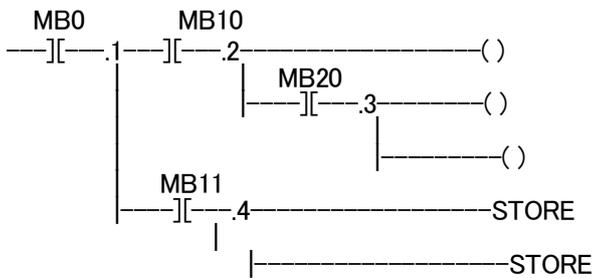
2階層のOR回路なのでOK

②



すべてコイルなのでOK

③



すべてコイルなのでOK

1.2 過去のバージョンアップ情報

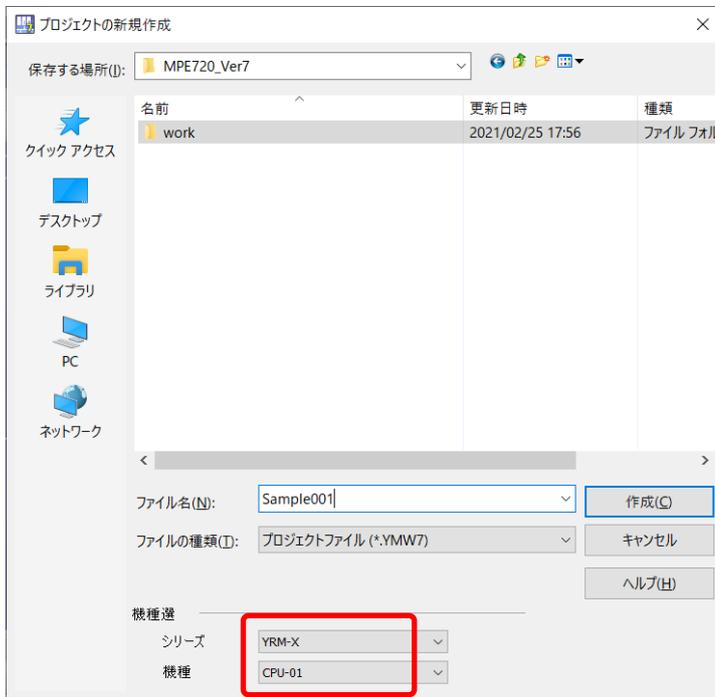
No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24
8	MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報	Ver7.24→Ver7.26
9	MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報	Ver7.26→Ver7.27
10	MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報	Ver7.27→Ver7.28
11	MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報	Ver7.28→Ver7.29
12	MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報	Ver7.29→Ver7.30
13	MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報	Ver7.30→Ver7.31
14	MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報	Ver7.31→Ver7.33
15	MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報	Ver7.33→Ver7.34
16	MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報	Ver7.34→Ver7.35
17	MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報	Ver7.35→Ver7.36
18	MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報	Ver7.36→Ver7.37
19	MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報	Ver7.37→Ver7.38
20	MPE720 Ver7.39 バージョンアップ情報	Ver7.38→Ver7.39
21	MPE720 Ver7.40 バージョンアップ情報	Ver7.39→Ver7.40
22	MPE720 Ver7.41 バージョンアップ情報	Ver7.40→Ver7.41
23	MPE720 Ver7.42 バージョンアップ情報	Ver7.41→Ver7.42
24	MPE720 Ver7.43 バージョンアップ情報	Ver7.42→Ver7.43
25	MPE720 Ver7.44 バージョンアップ情報	Ver7.43→Ver7.44
26	MPE720 Ver7.45 バージョンアップ情報	Ver7.44→Ver7.45
27	MPE720 Ver7.46 バージョンアップ情報	Ver7.45→Ver7.46
28	MPE720 Ver7.47 バージョンアップ情報	Ver7.46→Ver7.47
29	MPE720 Ver7.50 バージョンアップ情報	Ver7.47→Ver7.50
30	MPE720 Ver7.51 バージョンアップ情報	Ver7.50→Ver7.51
31	MPE720 Ver7.52 バージョンアップ情報	Ver7.51→Ver7.52
32	MPE720 Ver7.60 バージョンアップ情報	Ver7.52→Ver7.60

2. 修正内容詳細

No. 1 YRM-X に対応しました。

YRM-X コントローラに対応しました。

1) シリーズ名”YRM-X”、機種”CPU-01”を指定して、プロジェクトファイルを作成することが可能です。



2) YRM-X コントローラに接続してエンジニアリングすることが可能です。

YRM-X の詳細については YRM-X のマニュアルを参照ください。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	1.00

No. 2 Σ -Xに対応しました。

1) MC-Configurator のモジュール構成定義で Σ -X を割り付けてサーボ軸として使用することができます。

モジュール	機能モジュール/スレーブ	ステータス
01 [CPU-01] : ---		
-- UNDEFINED --		
-- UNDEFINED --		
-- UNDEFINED --		
00 CPU-01	01 CPU	----
	02 Ethernet 	----
	03 EtherNet/IP 	----
	04 MECHATROLINK-4 	----
	05  Motion	----
	01  SGDXS-****40*	----
	 SGDxW-****40*	----
	02  制御軸(回転)	----
	03  制御軸(回転)	----
	04 -- UNDEFINED --	----
05 -- UNDEFINED --	----	

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	1.00
YRM-7 シリーズ	未対応です。
MP3000 シリーズ	1.51
Σ -7 シリーズ(内蔵 SVC)	未対応です。
MP2000 シリーズ(内蔵 SVC)	未対応です。

○モーションモジュール

モジュール	対応ファームウェアバージョン
SVF-01	1.00
SVC-01	1.24

○サーボパック

対応サーボパック
SGDXS-****40*
SGDXW-****40*

No. 3 263IF-01 Ver1.06 に対応しました。

1) 263IF-01 のネットワークパラメータ画面で動作モードを選択できるようになりました。(Ver1.06 以降)

詳細定義 - [EtherNet/IP]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

PT#:-- CPU#:--

ネットワークパラメータ | コネクションリスト | I/Oステータス | モジュール情報

IPアドレス (0~254)

サブネットマスク (0~255)

ゲートウェイIPアドレス (0~255)

機器名称

エンジニアリングポート MPE720を接続する場合、エンジニアリングポートとして使用するポート番号を設定します。

動作モード

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

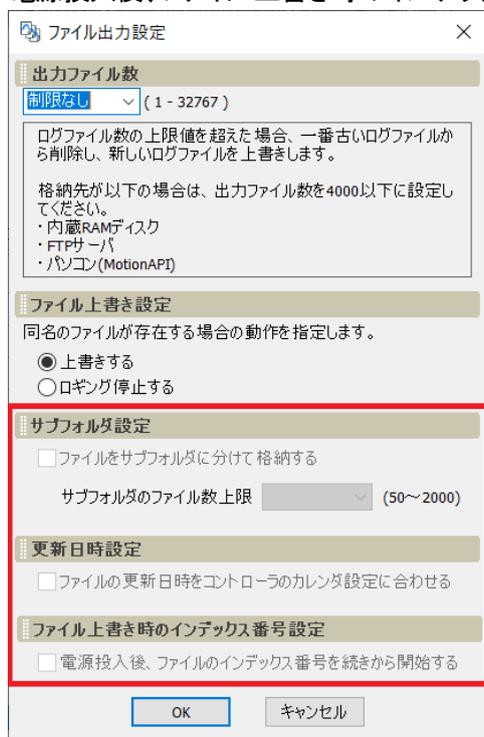
○オプションモジュール

モジュール	対応ファームウェアバージョン
263IF-01	1.06

No. 4 ログ機能改善しました。

ログ機能に以下の改善を行いました。

- 1) サブフォルダを設定できるようにしました。
- 2) ファイルの更新日時をコントローラのカレンダー設定に合わせることができるようになりました。
- 3) 電源投入後、ファイル書き時のインデックス番号を続きから開始できるようにしました。



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	未対応です。
YRM-7 シリーズ	未対応です。
MP3000 シリーズ	1.51
Σ-7 シリーズ	1.14
MP2000 シリーズ	未対応です。

No. 5 検索機能を改善しました。

プロジェクト内検索機能に以下の改善を行いました。

- 1) ラダープログラム、モーションプログラム内のコメントの文字列検索をできるようにしました。
- 2) ラダープログラムの行コメント(プログラムコメント、ラングコメント)の検索をできるようにしました。

プロジェクト内検索

変数 命令 アドレス コメント文字列 行コメント

検索文字列

対象プログラム

現在ウィンドウ

テキスト指定

プログラム指定

- ラダープログラム
- モーションプログラム
- シーケンスプログラム

大文字と小文字を区別する ワイルドカードを使う

完全に一致する項目を検索する レジスタの補正

検索2にログを出力

コメント文字列検索

プロジェクト内検索

変数 命令 アドレス コメント文字列 行コメント

対象プログラム

現在ウィンドウ

テキスト指定

プログラム指定

- ラダープログラム

行コメントの先頭行のみ表示

検索2にログを出力

行コメント検索

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 6 SVF-01 のリトライ回数を改善しました。

SVF-01 および YRM-X の Motion モジュールの詳細定義画面にメッセージ通信機能有効のチェックボックスを追加し、伝送周期、接続局数、およびスレーブ軸の伝送サイズから選択可能なリトライ回数を自動的に設定するようにしました。

詳細設定画面：

詳細定義 - [MECHATROLINK]
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W)
 PT#: -- CPU#: --
 パラメータ設定
 プロトコル: MECHATROLINK
 マスタ/スレーブ: マスタ
 自ステーションアドレス: 0x0001
 伝送周期: 250us
 メッセージ通信機能有効
 リトライ回数: 0
 接続局数: 8
 スレーブ同期機能: 無効
 スレーブ検出待ち時間: 0sec

スレーブの伝送サイズ：

01	SVF 16	入力	0C80~107F[H]	1024	----
01	SGD7S-****4*	入力	----	24	High
02	-- UNDEFINED --	出力	----	24	

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	1.00
YRM-7 シリーズ	未対応です。
MP3000 シリーズ	1.51
Σ-7 シリーズ	未対応です。
MP2000 シリーズ	未対応です。

○モーションモジュール

モジュール	対応ファームウェアバージョン
SVF-01	1.00

No. 7 ユーザメモリ異常時の起動不良を改善しました。

MP3000 コントローラでユーザメモリ異常が発生した場合に、そのままフラッシュ保存してしまうと電源再投入時に起動不良となってしまう現象がありました。そこでユーザメモリ異常時にはフラッシュ保存時にエラーメッセージを表示して、ユーザにメモリの初期化を促すようにしました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	-
YRM-7 シリーズ	-
MP3000 シリーズ	1.51
Σ-7 シリーズ	1.14
MP2000 シリーズ	-

No. 8 ラダーコンパイラを改善しました。

ラダーコンパイラについて以下の改善を実施しました。

- 1) 文字列格納命令 (STRSET) など「-」などの特殊文字を単体で入力できるようにしました。
- 2) 分岐のあるラダーで比較命令があり、それ以外の素子がコイル系の場合、比較命令で参照しているレジスタがその前の分岐のコイルでセットされた時、その値が比較命令で参照されるのが 1 スキャン遅れる現象を改善しました。
- 3) ワークレジスタが使用された命令が特定条件で正常に機能しない現象を改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 9 モーションコンパイラを改善しました。

モーションコンパイラについて以下の改善を実施しました。

- 1) WHILE-WHILEX の組み合わせ時に条件を満たしてもループを抜けず、モーションプログラムの先頭から始まってしまいう現象を改善しました。
- 2) MP900 からコンバートしたモーションプログラムがツリーに表示されない現象を改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 10 モーションプログラム実行中にフラッシュ保存できるようにしました。

モーションプログラム実行中にもフラッシュ保存ができるようにしました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 11 印刷マネジャが起動しない現象を改善しました。

MP2200-02、MP2200-03、および MP2200-04 の印刷を実行した時に、印刷マネジャが起動しない現象がありましたのでこれを改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	-
YRM-7 シリーズ	-
MP3000 シリーズ	-
Σ-7 シリーズ	-
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。